

令和7年度 小金井市立小金井第二小学校 学校経営方針概要

＜ 学校経営の基本理念 ＞ 「チーム 小金井二小」	◆ 校章「さくら」 さ さわやかにあいさつ く クラスの友だちと仲良く ら 楽な仕事は友だちに 大変な仕事は自分から (苦しい時こそ笑顔で) (来年、将来の姿をイメージして) ◆ 凡事徹底 信頼される学校を目指して、当たり前のことをきちんと行う ◆ 一隅を照らす 自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力する
--	---

＜ 目指す学校像 ＞ みんなの笑顔が輝く学校	◆ 児童が「今日も登校してよかった、明日もまた来たい!」と実感できる学校 ◆ 「チーム 小金井二小」の力を結集し、主体的に課題を解決していく学校 ◆ 児童・保護者・教職員・地域の方々が誇りをもてる学校
---	--



**本校は、令和5年4月に、
コミュニティ・スクールとなりました**

人権尊重の精神を基盤として、徳・知・体の調和がとれ、心身共に健康で、主体的に学ぶことができる児童の育成を図るとともに、国際社会に生きる資質・能力を育てる。

＜ 小金井第二小学校の教育目標 ＞ ○ 心豊かな子ども ◎ 自ら考え行動する子ども (令和7年度の重点) ○ 健康な子ども

I 授業力の向上 - 対話のある授業を充実させ、全教員による「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の公開 - 高学年教科担任制による「学びの充実」と「働き方改革」の実現 - 小中連携による授業公開及び参観を実施 - 校内研究、市教研、都や市の研修の活用・実践	II 一人一台 I C T 端末等の効果的な活用 - 児童の習熟度や認知特性に応じて、教育支援アプリにあるドリル学習等の実施(個別最適な学び) - 情報及び意見交流、共同編集機能等、I C T 機器を活用した複線型授業の実践(協働的な学び) 6年間を見通したシティズンシップ教育 - オンライン学習の実施に向けた教材準備 - I C T 機器を活用した実践を教員間で共有	III 小金井市気候非常事態宣言を受けて - SDG s と関連付けた学習活動を展開し、実践的な態度の育成(総合的な学習の時間等での成果発表) - 二小ハチドリプロジェクトの実施及び発信(委員会活動、芝生維持活動等) - 他校のハチドリプロジェクトとの情報交流 - ごみの削減、節電、服のリユースなどの継続的取組
IV 人権教育・生命尊重教育の充実 「小金井市子どもの権利に関する条例」を取り入れた授業を発達段階に応じて年間1回実施 - いじめ問題や生命尊重に関する授業を、学期1回以上実施 - S O S の出し方に関する授業を、1学期中に全学級で実施 - 毎学期のふれあい月間は、児童アンケートの実施、いじめ対策委員会の開催、人権教育に関する教員研修を実施	令和7年度の重点施策 1 授業改善の推進 … I、II 2 人権教育の充実 … IV、VI、VII 3 コミュニティ・スクールとしての地域連携の推進 … III、V、VIII	V コミュニティ・スクールの推進 - 地域学校協働活動と連携した、地域人材を活用した学習支援、ボランティア活動の実施 - 関係諸機関と連携した子どもと家庭支援 - 東京学芸大学学生の活用(主に体育にて) 防災訓練、土曜講座や各種検定の実施 80周年に向けての準備
VI 不登校対応の充実 - 児童が誰かに相談しやすい相談体制整備と周知 - SCとSSWとの情報共有と組織的な対応の充実 - 様々な理由により登校できていない児童、保護者とのオンラインを活用した関係づくり、WEB-QUの活用 - 児童・生徒個人指導ファイルを活用した支援の継続 - もくせい教室との連携	VII 共生社会の実現に向けた教育の充実 - 授業におけるユニバーサルデザインの実施と合理的配慮の提供 - 心理士によるアセスメントを生かした支援を実践 - さくら、特別支援学校等との交流、副籍交流の実施 - 理解教育を全学年で実施 - ピンクシャツデー(一中との協働)	VIII カリキュラム・マネジメントの充実(教科横断的な視点で教育活動を評価) - 考え、議論する道徳授業の充実 - 小・中を見通した外国語教育の充実 「学校2020レガシー」の継続・発展 - 保護者や地域ボランティアと連携した読書活動の充実 - 健康教育の推進(体力向上週間、食育、保健指導等) - セーフティ教室、毎月の安全指導による安全教育の継続